

老健・特養施設実習 評価表

実習場所(病院) 実習期間: 令和 年 月 日()

G 学籍番号

氏名

目 標	評 価 項 目	学 生 評 価	教 員 評 価
知識・技術	1) 介護老人福祉施設及び介護老人保健施設における役割と機能を理解する	3・2・1・0	
	2) 施設の特徴と利用者の特性を理解し、記述できる	3・2・1・0	
	3) 生活支援の実際を記述できる	3・2・1・0	
	4) 事前学習から、高齢者の発達課題を理解し、記述できる	3・2・1・0	
	5) 事前学習もふまえ、高齢者の身体的・精神的・社会的特徴を理解し、記述できる	3・2・1・0	
	6) 高齢者の表情や言動を観察し、生活への思いを記述できる	3・2・1・0	
	7) 高齢者の特徴(身体的・精神的・社会的)をふまえた人間関係構築方法・コミュニケーションを考察し記述できる	3・2・1・0	
	8) 高齢者の状態や状況に応じたコミュニケーションを実施し、評価できる	3・2・1・0	
	9) 高齢者の1日の生活の流れから、実施される援助の必要性を理解し、個性や留意点も合わせて記述できる	3・2・1・0	
	10) 個別に応じた日常生活援助を考え、安全・安楽・自立に配慮し、指導のもと実施できる	3・2・1・0	
	11) レクリエーション、リハビリに参加し、利用者の反応を記述できる	3・2・1・0	
	12) 保健・医療・福祉の連携について考えられ、看護者の役割を記述できる	2・1・0	
	13) 高齢者への看護者の関わり方から、施設での看護者の役割を記述できる	2・1・0	
	14) 高齢者の人権・プライバシーについて考えられ、尊重した態度で接することができる	3・2・1・0	
態 度	15) 時間と規則を遵守し、信頼関係を築くための関わり方ができる	2・1・0	
	16) 適切な時期に、連絡・報告・相談ができる	2・1・0	
	17) 挨拶や学生としての適切な行動と言葉遣いができ、他者からの評価を受け入れ、振り返りができる	2・1・0	
	18) グループメンバーと協力し合える	2・1・0	
8. グループメンバーと協力できる	19) 受け持ち以外の対象へも関心を示し、カンファレンスで積極的な意見交換ができる	2・1・0	

日時/理由

実習評価点

点/50点

点

遅刻	回		学生評価
早退	回		教員評価
欠席	回		

評価基準

【1～11、14項目】

3: 指導なしでできる 2: 指導にておおむねできる

1: 指導にて一部できる 0: できない

【12、13、15～19項目】

2: 積極的にできる 1: 指導後にできる 0: できない

学生サイン

教員サイン